

毛呂山 獅子ヶ滝ボルダー

2017.10.1 rctK

多忙で時間がなく、取り敢えずどこかでボルダリングでもと考え思いついたのが、昔数十年前に、岩場探しをしていた時に見つけた獅子ヶ滝の近くにあったボルダー。確か苔だらけだが、意外と大きかったように記憶しており、あまり期待しないで、車道から見えたので行けば分かるだろうと思いかける。

毛呂から獅子ヶ滝方面へ入っていくと、滝の手前にやはり苔をびっしり付けた大きな岩があった。しかし、北側斜面にあり谷の底、薄暗い雰囲気でお世辞にもロケーションは良いとは言えない。

見た瞬間はちょっとした失望感があったが、いざ確かめに沢を渡って岩まで行くと、何んと上流側が前傾しており、さらにしっかりした良いホールドが上まで続いている。ランディングがあまり良いとは言えないが、ちょっとした掘り出し物で十分楽しめそうだ。この日はトライするには十分な時間がなく、さらに雨後で結露もあったので、岩上と周囲を簡単に掃除して、付近のゴミを拾って帰宅した。

その後暫くして、トライするのに条件が良さそうな日を狙って出かけてみる。この日も半日ほどしか時間がなかったが、そこそこ乾いており、掃除後集中したトライをすることができた。

条件と雰囲気がいまいちで、さらに、夏や雨後は登れないことが多くお勧めできないが、涼しい時季を狙って行けば登れるので、首都圏郊外にある近場のボルダーとして、簡単に紹介する。

もし訪れる場合のアクセスは、車利用で、毛呂から阿諏訪地区方面へ入り、阿諏訪川に沿って林道を奥へ進むと獅子ヶ滝に着く。駐車は獅子ヶ滝見学用の林道脇のスペースを利用できるが、上の岩場からの落石のこない位置に駐車した方が無難である。



《課題紹介》

●獅子ヶ滝ボルダー

ボルダーは高さ4m程で、林道の対岸(右岸)にあり、飛び石伝いに渡る下地は石が飛び出ているので、マットを敷いた方が良い。

課題は川側のフェイスに2本、上流側の前傾フェイスに2本の、計4本設定されている。そこそこ楽しめるが、上級者には物足りないだろう。

お薦めは赤ラインで課題名は「獅子舞」。右に移ってから落ちると斜面に飛び出た石に当たるので注意が必要。

黄色ラインは石に腰かけてSDスタート。赤ラインとホールドを中間部で共用し、最後は直上する。

ピンクラインは、石に載ってスタート。青ラインのスタートホールドに立ちこみ、上部は浅いクラックを使う。最後は右のガバを使うが、右に出ずフェイスを青ラインの方に抜ける。

青ラインはクラックで、易しいが楽しいライン。課題名は「マメヅタクラック」。最初の一手のバランスがちょっと悪い。取り付きの直ぐ左が小さな滝の崖なので、そちらに落ちないように気をつけること。

なお、川側の2本は、水嵩が増すとマットが敷けないので、トライは避けた方が良い。

このボルダーの後ろの山の斜面に、小さなフェイスがあるが、未トライである。

